



尚絅大学附属こども園

修了証書授与式(卒園式)

令和7年3月15日(土)に令和6年度(第56回)修了証書授与式を行いました。令和6年度は、ほし組、つき組、にじ組の年長組合わせて70名の園児が本園を巣立ちました。

担任から順番に名前を呼ばれた園児たちは、一人ずつ演壇にあって、園長から修了証書を授与されました。皆、神妙な面持ちでお礼の言葉とともに修了証書を受け取っていました。

その後は、園長式辞、杉の子会会長祝辞、在園児のお祝いの歌、修了児の園生活の思い出を綴ったお別れの歌と続き、式は滞りなく終了しました。

卒園する70名は、本園での思い出を胸に、4月からの小学校での新しい生活に胸躍らせながら本園を後にしました。



入園式

令和7年4月12日(土)に令和7年度の入園式を行いました。今回の出席者は、新入園児が71名、6年度途中入園児が5名、合計76名の園児とその保護者でした。

最初に園長から、入園する園児と保護者に向けて式辞を述べました。入園する園児には、園長が赤ちゃんやアンパンマン等の人形を使い声色を変えながら話をする場面もあり、こども園らしい入園式となりました。

その後、在園児の代表者によるお祝いのことばや歌、教員数名によるハンドベル演奏で新入園児を歓迎しました。最後に、各クラスを担当する保育教諭の紹介があって、終了しました。

これから、園での日々の生活や遊び、行事等を通して、園児一人ひとりが成長していく姿を見せてくれることが楽しみです。



芋苗遠足(年長組)

令和7年5月13日(火)に芋苗を植えるにカントリーパークに出かけました。この日はとても良いお天気に恵まれ、遠足日和でした。苗の植え方をカントリーパークの方に教わりながら、丁寧に苗を植えました。中には「大きくなーれ」と呪文のように唱えながら植えている園児もいました。係の方が、「皆さんの苗を大事に育てます」と言われ、園児たちも「よろしくお願いします」と挨拶をしていました。

そのあとは待ちに待った昼食。弁当の中味はおにぎり弁当です。玉子焼きやチキン等の入ったスペシャルおにぎりを美味しく食べていました。沢山のバラの花が満開で、花の色や形を見たり、ばらの匂いをかいだりしていました。中には「シャンプーのにおいみたい!」や「お化粧の匂いがする!」と鋭い感性と表現に「なるほど!」と感心させられました。秋の収穫が楽しみです。



「尚絅学園みらい募金」～奨学資金および教育研究振興の充実のための募金～の報告とお願い

寄附者芳名録			
令和6年11月1日～令和7年4月30日現在			
ご寄附をいただきました方々のご協力に感謝し、ご芳名を掲載させていただきます。			
寄附金内訳			
個人・法人・企業等 2件 / ¥2,300,000	現旧役員・教職員 2件 / ¥500,000	合計 4件 / ¥2,800,000	
卒業生・現旧役員・教職員・個人・法人・企業 (順不同)			
光多制服株式会社様	尚絅学園後援会様	山縣 ゆり子様	坂田 敦子様

「尚絅学園古本募金」

「尚絅学園古本募金」は、取引集荷・査定換金・募金送金の運営を「古本基金きしゃぼん」(運営:嵯峨野株式会社)に委託して実施しています。皆様からのご支援をお待ちしております。

尚絅学園古本募金状況について			
令和6年11月1日～令和7年4月30日現在			
ご寄附をいただきました方々のご協力に感謝し、寄附金状況をご報告させていただきます。			
寄附金内訳			
個人・法人・企業等3件 / ¥569	現旧役員・教職員 1件 / ¥270	合計 4件 / ¥839	

〈WEBで申込む〉 [尚絅学園 古本募金](https://www.shokei-gakuen.com/shokei-gakuen/) (電話で申込む) ☎0120-29-7000
 Kishapon.com/shokei-gakuen/ (受付)24時間・365日 オペレーターに団体ID172とお伝えください。(受付)9時～18時・365日
 【お申込みと集荷について】 電話またはWEBからお申し込みいただくだけで、ご希望の時間に自宅まで宅配業者が受け取りに伺います。5冊(5点)以上であれば送料無料で。



学校法人尚絅学園 令和6年度決算の概要

1. 決算の概要

学校法人尚絅学園の令和6年度決算は、令和7年5月26日開催の理事会において承認・議決され、令和7年6月23日開催の定時評議員会に報告されました。また、監事及び監査法人の承認を得ております。以下、その内容についてご説明いたします。

(1) 資金収支計算書 資金収支計算書は、当該年度の教育研究活動に対応するすべての資金の収入及び支出の内容を明らかにして、支払資金の収入及び支出の顛末を明らかにしています。

資金収支計算書要約 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで (単位:百万円)

資金収入の部	令和6年度	前年度	増減	資金支出の部	令和6年度	前年度	増減
学生生徒等納付金収入	1,273	1,308	△35	人件費支出	1,576	1,592	△16
手数料収入	18	18	0	教育研究経費支出	453	437	16
寄付金収入	7	9	△2	管理経費支出	160	122	38
補助金収入	775	776	△1	借入金等利息支出	8	8	0
資産運用収入	0	0	0	借入金等返済支出	56	33	23
資産売却収入	9	0	9	施設関係支出	10	38	△28
事業収入	1	2	△1	設備関係支出	28	49	△21
雑収入	124	101	23	資産運用支出	6	8	△2
借入金等収入	0	0	0	その他の支出	60	64	△4
前受金収入	327	389	△62	資金支出調整勘定	△58	△51	△7
その他の収入	189	69	120	支出の部小計	2,299	2,300	△1
資金収入調整勘定	△552	△534	△18				
前年度繰越支払資金	581	743	△162	次年度繰越支払資金	453	581	△128
収入の部合計	2,753	2,881	△128	支出の部合計	2,753	2,881	△128

資金収支計算書の収入の部において、学生生徒等納付金収入は1,273百万円となり、前年度比35百万円減少しました。また、補助金収入として775百万円を計上し、前年度比1百万円減少しました。

学生生徒等納付金収入及び補助金収入における減少要因は、学生・生徒・園児の在籍数が前年度より20名減少、資産売却収入の増加要因は、武蔵ヶ丘キャンパス敷地内にある電力鉄塔用地の売却による増加、前受金の減少要因は、入学予定者数が前年度より35名減少によるものです。また、その他の収入の増加要因は、前期末未収入金(退職金交付金と施設型給付費と預り金(土地売却代金手付金))の増加によるものです。

支出の部では、人件費支出は1,576百万円であり、前年度比16百万円減少しました。教育研究経費支出は453百万円で前年度比16百万円増加、管理経費支出は160百万円で前年度比38百万円増加しました。

人件費支出における減少要因は、退職した教職員と後任の教職員の給与差によるものです。また、教育研究経費の増加要因は、光熱水費(電気代単価の値上がり)と奨学費(高等教育修学支援金)、管理経費の増加要因は、報酬委託手数料(武蔵ヶ丘キャンパス土地売却に係る現況測量)と広報費(活動拡大)と補助活動費(寮運営会社との契約金額の値上げ)によるものです。

以上の結果により、次年度繰越金は453百万円となり前年度比128百万円減少いたしました。

(2) 事業活動収支計算書 事業活動収支計算書は、当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容、収支状況を明らかにして、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示しています。

事業活動収支計算書要約 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで (単位:百万円)

事業活動収入の部	令和6年度	前年度	増減	事業活動支出の部	令和6年度	前年度	増減
(教育活動収入計)	(2,198)	(2,213)	(△15)	(教育活動支出計)	(2,652)	(2,620)	(32)
学生生徒等納付金	1,273	1,308	△35	人件費	1,582	1,602	△20
手数料	18	18	0	教育研究経費	869	855	14
寄附金	7	9	△2	[内奨学費]	(182)	(173)	(9)
経常費等補助金	775	775	0	[内減価償却額]	(416)	(418)	(△2)
付随事業収入	1	2	△1	管理経費	201	163	38
雑収入	124	101	23	[内減価償却額]	(28)	(28)	(△0)
(教育活動外収入計)	(0)	(1)	(△1)	(教育活動外支出計)	(8)	(8)	(0)
受取利息・配当金	0	1	△1	借入金等利息	8	8	0
(特別収入計)	(9)	(4)	(5)	(特別支出計)	(0)	(0)	(0)
現物寄付等	9	4	5	資産処分差額	0	0	0
事業活動収入計	2,208	2,218	△10	事業活動支出計	2,661	2,629	32
				基本金組入前当年度収支差額	△452	△410	△42
				基本金組入額	△5	△38	33
				当年度収支差額	△458	△448	△10
				基本金取崩額	0	0	0

事業活動収支計算書の収入の部、支出の部については、資金収支計算書の収入の部、支出の部と同様の項目が多く含まれています。令和6年度の事業活動収支計算書における特徴的なものは、学生生徒等納付金の減少及び雑収入の増加を主要因とした事業活動収入が前年度比10百万円減少したことに対し、人件費は減少及び教育研究経費と管理経費の増加を主要因とした事業活動支出が前年比32百万円の増加となりました。

その結果、教育活動収支差額は△454百万円となり、前年度比47百万円悪化しました。同様に基本金組入前当年度収支差額は△452百万円となり、前年度比△42百万円悪化しました。